

平成29年度 事業計画

I 文化情報提供事業[6, 566千円]

県民に対して文化情報を提供するため、情報誌を発行するほかインターネットによる情報提供を行う。

また、管理している音楽堂の情報や友の会の情報も提供する。

1 情報提供事業 [4, 548千円]

事業名	事業概要
【指定管理業務】 (1) 情報誌発行业業 (4, 178)	県内を中心とした文化事業等を幅広いジャンルで紹介し県民の文化活動の一助とする。また、県民に県内の文化情報を提供する。 情報誌「季刊ブンカ」 A4版 20ページ 年4回発行 各5,500部発行
【指定管理業務】 (2) インターネット情報発信事業 (370)	インターネット人口が増加し、ウェブサイトによる情報発信が有力な広報手段となっていることから、ウェブサイトによる情報の発信を強化する。

2 普及広報事業 [2, 018千円]

事業名	事業概要
【指定管理業務】 (1) インフォメーションセンター整備事業 (1, 323)	<ul style="list-style-type: none"> 来館者が自由に視聴できるよう月刊専門誌、CD、DVDを整備する。
【指定管理業務】 (2) 貸館促進広報事業 (695)	「ハーモニーホールふくい」の施設の情報を提供し、利用の促進を図る。 <ul style="list-style-type: none"> 利用者との意見交換会を開催する。 利用者を対象とした「スプリングフェスティバル」を開催する。

II 文化活動促進事業〔40,957千円〕

県民自ら行う文化活動への支援のほか、子どもたちの音楽鑑賞や福井県にゆかりの深い楽器教室などを開催することで音楽への理解を深める。

また、パイプオルガンの普及と県内演奏家の育成を図る。

県内の若手人材育成のため支援コーディネーターを設置する。

さらに、ホール運営ボランティアなどのスタッフの育成も行う。

1 活動支援事業〔0千円〕

事業名	事業概要
文化活動後援	地域の文化振興を目的として、文化活動に対して後援を行う。

2 教育普及事業〔40,461千円〕

事業名	事業概要
【指定管理業務】 (1)セミナー等実施事業 (9,013)	<p>本県にゆかりの深い楽器であるハープ、マリンバと弦楽器に親しむきっかけづくりとなる「ふれあい教室」、弦楽器奏者を育成する「弦楽器教室」、音大生やセミプロなどを対象とした「夏期マスターコース」まで一貫した演奏家および愛好家の育成システムを構築するとともに、パイプオルガンの活用を促進するための養成講座を実施し、本県の音楽文化振興を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ふれあい教室 対象楽器 アイリッシュハープ、マリンバ、ヴァイオリン、チェロの4部門 対象者 5才から中学生 初級コース 対象楽器 ハープとマリンバを隔年実施 (平成29年度はハープ) 対象者 原則、高校生以上 夏期マスターコース 国外講師、国内最上級講師による3日程度の集中講義を実施 対象楽器 ハープ、マリンバを隔年実施 (平成29年度はハープ) オルガニスト養成講座(パイプオルガン) パイプオルガンの活用を促進するため、音楽を学ぶ若者がパイプオルガンに触れる機会を提供したり、県内オルガニストの演奏スキルアップを図る講座として実施

<p>【指定管理業務】 (2)パイプオルガン普及啓発事業 (1, 493)</p> <p>【県受託事業】 (3)ふるさと子どもコンサート (657)</p> <p>【県受託事業】 (4)ふれあい文化子どもスクール オーケストラとのふれあい コンサート開催事業 (14, 411)</p> <p>【県受託事業】 (5)未来の音楽人材育成事業 (4, 708)</p>	<p>底辺拡大のセミナーを継続するほか、28年度に開催した全国への情報発信のための若手オルガニストの登用オーディション合格者を、パイプオルガン普及啓発事業に採用することでオルガンの有効活用を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー オーケストラやアンサンブルの弦楽器奏者の拡充を目指す弦楽器教室を実施。 (初級コース、中級コース) 対象楽器 ヴァイオリン、チェロ、ヴィオラ 対象者 (初級コース) ふれあい教室修了、県の芸術教育推進事業実施校児童等 (中級コース) 小学3年生程度から大学生まで一定レベル以上の技量を有する者 <p>パイプオルガンを使用して、県民の音楽文化レベルの向上、演奏者の人材育成およびオルガンの普及啓発を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 普段自主公演事業に来場しにくい子育て世代を主な対象とした短時間の無料コンサートを平日に開催し、将来の自主公演事業の鑑賞者の育成を目指す。オルガン作品の鑑賞を中心に据えつつ、オルガン見学やクラシック音楽の鑑賞マナー入門や音楽を使った身体表現等、幅広い内容で実施 開催回数 年間3公演 子どもが楽しめる楽曲による音楽公演、パイプオルガン演奏、楽器体験、パイプオルガン探検ツアー等を開催する 開催回数 年間5公演 (うち1回は嶺南開催) 県内の小学5年生(約8,000人)を対象に、県立音楽堂でオーケストラと直接ふれあい、子どもが楽しめる参加体験型コンサートを開催する。 開催回数 年間7公演 音楽教育支援コーディネーターにより、音楽活動のレベルを高めたい高校生等に学びの場を提供し、プロの音楽講師による若手人材の育成を図る。
--	---

<p>【県受託事業】 (6)出張音楽堂開催事業 (10, 179)</p>	<p>豊かな創造性・人間性を育てるため、県内の中学校等へ演奏家を派遣し、小中学生が優れた芸術を鑑賞する機会を拡大する。 年30回程度開催 中学生：27～29年度ですべての中学校、特別支援学校へ演奏家を派遣 小学生：各市町の連合音楽会へ演奏家を派遣 (28年度から実施)</p>
---	--

3 人材育成事業〔496千円〕

事業名	事業概要
<p>【指定管理業務】 (1)ボランティア（ホールポーター）設置 (314)</p>	<p>県立音楽堂に対する関心と愛着を高めるとともに、館のPRや業務の支援をもらうボランティアの運営 ・登録人員 30名程度</p>
<p>【指定管理業務】 (2)レセプションист設置 (182)</p>	<p>来館者に快適かつ安全にコンサートを楽しんでもらうため、座席案内や緊急時の避難誘導などを行う専門的な接客研修を受けたレセプションистの運営 ・登録人員 50名程度</p>

Ⅲ 公演事業〔229, 430千円〕

文化や音楽に関する県民の理解を高めることを目的に、文化公演、音楽公演等を開催する。

1 文化公演事業〔0千円〕

事業名	事業概要
<p>(1)ふるさとの日記念事業 (0)</p>	<p>「ふるさとの日」にちなんで、福井県と共催で記念事業を実施する。 ・開催日 2月7日（予定）</p>

2 音楽公演事業〔229, 430千円〕

事業名	事業概要
<p>【指定管理業務】 自主公演事業 (229, 430)</p>	<p>県民に愛されるホールとして「開かれた音楽堂」実現のため、具体的に項目立てた目標に則り、音楽を中心とした芸術文化振興の先導的かつ中心的な役割を果たすため、優れた音楽公演事業をはじめとする各種自主事業を積極的に実施する。</p> <p>なお、事業は、次の4つのジャンルに区分し、概ね月に2公演程度の割合で開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①特別鑑賞型(国際的に評価の高い海外のオーケストラなどによる極めて質の高い公演) ②鑑賞型(国内外のオーケストラを始め優れたソロや室内楽、邦楽などの質の高い公演) ③参加創造型(本県出身および在住アーティストや地域との連携による創造性の高い公演) ④普及啓発型(音楽堂になじみがないと感じている県民を招き入れる公演) <p>特に、若手奏者育成事業である『越のルビー音楽祭』を本年も引き続き実施し、本県音楽文化の一層の向上を図る。さらに、オーストリア、フランス、アメリカ、イタリア、フィンランドなどの名門オーケストラや室内アンサンブルなど、福井に居ながら一流に触れられる企画を実施。本県の音楽環境向上を図るための“アウトリーチ事業”も積極的に展開するとともに、音楽に付随して文化や食についても楽しみを提供する「ブンカさろん」も引き続き実施する。</p> <p>開館20周年を迎えることから、これを記念する事業として、9月23日には「越のルビー音楽祭スペシャル」を実施。</p> <p>この20年間で演奏家として活躍のフィールドを拓げてきた福井ゆかりの作曲家、越のルビーアーティストをはじめ、本事業に映像・美術面で共同制作を担う大学生、高校生、中学生、福井県芸術教育推進校の弦楽アンサンブルや当事業団主宰の福井ジュニア弦楽アンサンブルなど、当ホールの誕生とともに生まれ育ってきた世代の学生たちが出演し、記念事業に相応しいスケールの事業を展開する。</p>